【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公表番号】特表2014-512080(P2014-512080A)
【公表日】平成26年5月19日(2014.5.19)
【年通号数】公開・登録公報2014-026
【出願番号】特願2014-503899(P2014-503899)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｈ　13/14　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｈ　13/14　Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/02　３１０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年2月27日(2015.2.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のキーであって、各キーが、ユーザによって押下されるように構成されたタッチサーフェスを含む、複数のキーと、
複数のレベリングおよび平面平行移動動作機構であって、各レベリングおよび平面平行移動動作機構が、前記複数のキーのうちの関連するキーの前記タッチサーフェスを、押下されたときに、実質的にレベル状態にするとともに平面平行移動を呈するように案内するように構成された、複数のレベリングおよび平面平行移動動作機構と、
前記複数のキーのうちのキーをそれぞれの押下されていない位置に向けて磁気的に付勢するように構成された複数の磁石と、
を備えるキーボード。
【請求項２】
前記複数の磁石のうちの磁石をシフトさせて前記複数のキーのうちの前記キーをそれぞれのキーホールに落下させる落下機構をさらに備える、請求項１に記載のキーボード。
【請求項３】
前記キーボードが、ヒンジ式蓋を有するデバイスで使用されるように構成され、前記キーボードが、前記複数のキーのうちのキーを蓋の閉鎖に応答して後退させるように構成されたキー保持システムをさらに備える、請求項１または２に記載のキーボード。
【請求項４】
前記複数のレベリングおよび平面平行移動動作機構が複数のリンク機構を備える、請求項１～３のいずれか一項に記載のキーボード。
【請求項５】
前記複数のリンク機構のうちの各リンク機構が、関連するタッチサーフェスを上端バーとして使用する４棒リンク機構を備える、請求項４に記載のキーボード。
【請求項６】
前記複数のレベリングおよび平面平行移動動作機構のうちの各レベリング平面平行移動動作機構が、前記関連するキーの前記タッチサーフェスの下側の外周に沿って配列された複数のランプを備える、請求項１～３のいずれか一項に記載のキーボード。

【請求項７】
ユーザによって押下されるように構成されたタッチサーフェスを有するキーキャップと、
前記タッチサーフェスが押下されていない位置から押下された位置に移動するときに、前記タッチサーフェスを実質的にレベル状態にするとともに平面平行移動を呈するように案内するように構成されたレベリングおよび平面平行移動動作機構と、
前記押下された位置から前記押下されていない位置に向けて前記キーキャップを付勢するように構成された磁石復帰機構と、
ラップトップ蓋の閉鎖に応答して前記キーキャップを後退させるように構成された保持機構と、
を備えるキーアセンブリ。
【請求項８】
前記レベリングおよび平面平行移動動作機構がリンク機構を備え、前記キーアセンブリが、前記キーキャップの下のバックライトをさらに備える、請求項７に記載のキーアセンブリ。